

2021.2.1

No. 208
12月
定例会



甲府市議会

市民と議会の交流会
～市立甲府商業高等学校～
テーマ：『現在の社会・未来の甲府』に思うこと



CONTENTS

- 新型コロナウイルス感染症に関する緊急対応策
市内ではどうなっているの? …… ②～③ページ
- 甲府商工会議所と意見交換／
令和2年度市民と議会の交流会 …… ④ページ
- 議会基本条例制定を目指しています!
…………… ⑤ページ

- 12月定例会の概要／議会日誌／
3月定例会の予定 …… ⑥ページ
- 市政に関する質問 …… ⑦～⑫ページ
- 常任委員会審査の概要 …… ⑬ページ
- 審議結果／人事案件 …… ⑭ページ
- 意見書／請願審査結果 …… ⑮ページ
- 各調査研究会活動報告 …… ⑯ページ

『新型コロナウイルス感染症に関する緊急対応策』

市内では
どうなっているの？

市立甲府病院におけるPCR検査機器の導入

緊急対応策

PCR検査機器等を導入し、市立甲府病院の手術を予定している患者さんや妊婦さんで感染の不安のある方などに検査を行える体制を整え、安心して受診していただける診療体制の強化を図ります。

現場の声

全自動の検査機器を購入し、昨年11月から本稼働を開始しました。この機器は、1回につき1時間半で最大4人分の判定結果が分かるため、少ない負担でPCR検査が実施でき、発熱外来や手術前の患者さんの院内感染を防ぐことができます。



小中学校への学習指導員及び スクールサポートスタッフの配置

緊急対応策

児童・生徒一人ひとりに応じたきめ細かな指導を実施するため、個別指導等を行う学習指導員や、授業準備や健康管理等に係る補助などを行うスクールサポートスタッフを配置し、子どもたちの学校生活を支援します。

現場の声

学習指導員の配置により、きめ細かな指導ができるようになり、学習効率の向上につながりました。

また、スクールサポートスタッフの配置により、印刷物の準備など事務作業の効率化とともに、教員が放課後の校内消毒等にかけていた時間を教材研究や子どもと向き合う時間にあてることができるようになりました。教員の負担軽減によって学校現場に良い影響をもたらしています。



がんばろう甲府!最大30%戻ってくるキャンペーン

緊急対応策

停滞した市内の消費を喚起するために、「新しい生活様式」として注目されているQRコード決済(PayPay)をお支払いで活用した場合、利用者に最大30%のPayPayボーナスが付与されます。

1回あたりの付与上限 3,000円相当、1ヵ月の付与上限20,000円相当

キャンペーン実施月：令和2年9月・12月・令和3年1月

現場の声

コロナ禍における客数減少の中、テイクアウト商品を中心とした厳しい経営状況にあって、キャンペーン実施月には、PayPay利用可能店舗の検索によって新規客の増加につなげることができました。また、PayPayは、リアルタイムで支払い状況が確認できるため、安心して利用できるメリットも感じました。



子どもと妊婦さんのインフルエンザ予防接種助成

緊急対応策

コロナ禍におけるインフルエンザの流行を防ぎ、医療現場での混乱防止、子育て世代の経済的負担軽減を図ることを目的に、子どもと妊婦さんの予防接種費用の一部を助成します。

6か月以上13歳未満の方：2回(各2,500円)

13歳以上の方：1回(2,500円)

現場の声

新型コロナウイルス感染拡大で医療機関がひっ迫しており、予防接種でインフルエンザの流行を防ぐことは大切です。

取材にうかがった小児科医院ではこの日、お父さんが3姉妹を連れて予防接種を受けていました。3人に2回接種で合計15,000円の負担の軽減になります。子育て世帯は大助かりです。



甲府市議会「新型コロナウイルス感染対策特別委員会」が

甲府商工会議所と意見交換

市民に支援情報がわかりやすく届くよう
甲府市ホームページを工夫してほしい

『がんばろう甲府！最大30%戻ってくる
キャンペーン』は有効だった

10月7日・8日の2日間にわたり甲府
商工会議所と意見交換を行いました。

甲府商工会議所の各部会担当者から、
感染拡大による市内事業者等への影響や、
どのような支援が求められているのか
などをお聞きし、意見交換を行いました。

いただいたご意見・ご要望に対し、どの
ような対応ができるのか委員会で検討
し、今後に生かしてまいります。

『テイクアウト支援事業』は飲食店への
応援の気持ちが伝わり励まされた

地場産業である宝飾産業を
応援してほしい



新ジュエリーブランド
SIMPRICH(シンプリッチ)

【画像提供】
山梨ジュエリープロジェクト
(甲府商工会議所)

令和2年度 市民と議会の交流会

“現在^{いま}の社会・未来^{あす}の甲府”に想うこと

市立甲府商業高等学校



12月18日(金)
午後4時～(商友館)
3年生の生徒11名と
意見交換

東海大学付属甲府高等学校



12月21日(月)
午前10時～
(大会議室・図書室)
3年生の生徒40名と
意見交換

令和元年11月に甲府市議会として初めて開催した「市民と議会の交流会」に引き続き、今回は、
新型コロナウイルス感染対策を行いながら、高校生との交流会を開催しました。

高校生の目線や視点から、未来の甲府がどのようになって欲しいのか、もっと住みやすくする
にはどうすれば良いのかなどについて意見交換を行い、様々な意見をいただきました。

また、参加された生徒からは、「地域について考える良い機会になった」「初めて議員さんと直接
話することができて身近に感じた」などの感想もいただきました。

甲府市議会は、

議会基本条例制定を目指しています!



Q1 そもそも議会基本条例って何?

議会運営の原則や市民と議会、議会と市長との関係等について、議会の基本姿勢を明文化したものです。

その内容は、これまで市議会が積み重ねてきた議会改革の成果を集約したものであり、市民福祉の向上と市政の発展に寄与することを目的としています。

—議会基本条例の内容—

- 議会・議員の活動規則
- 住民と議会の関係
- 市長(執行機関)と議会(議決機関)の関係
- 議会の運営
- 議会の体制整備 など



Q2 なぜ甲府市議会に基本条例が必要なの?

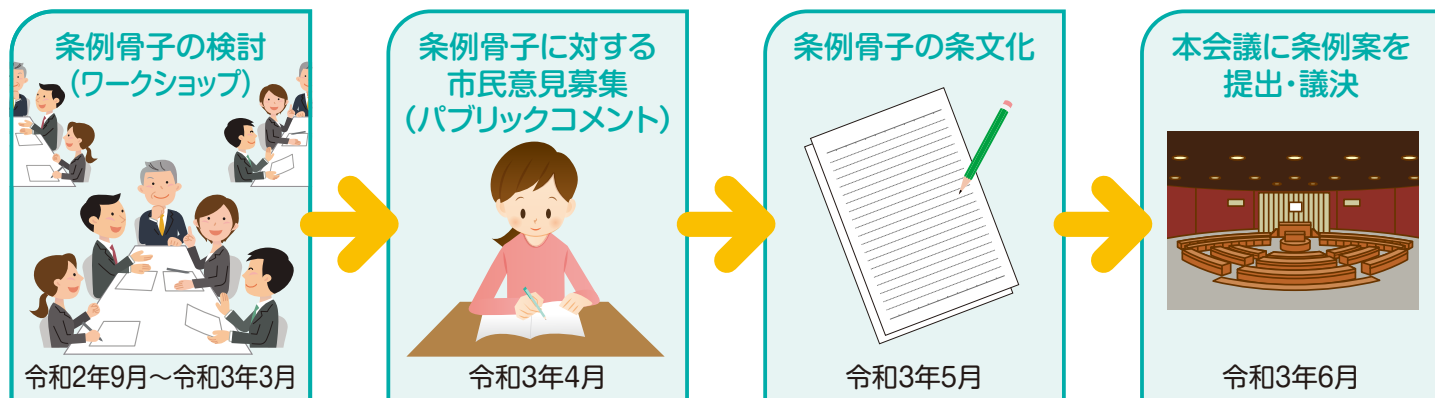
様々な権限が地方公共団体に移譲される中、地方議会が担う役割も大きくなっています。

市民に開かれた議会の推進をはじめとした議会改革の動きを継続させていくため、議会活動の理念や様々な議会改革の取組をルール化した議会の最高規範として「議会基本条例」を定めることとしました。

Q3 甲府市議会の基本条例は、どのように検討・制定されるの?

甲府市議会では、現在、「議会基本条例特別委員会」において、グループ形式(ワークショップ)を中心とした議員間討議により議会の役割や機能充実における理解を深め合い、研究を進めながら、令和3年6月の議会基本条例の制定を目指しています。

<<< 議会基本条例の提案に向けた今後の流れ >>>



甲府市議会は、12月定例会を11月30日から12月11日までの12日間の日程で行いました。

令和2年度甲府市一般会計補正予算(第11号)、甲府市市立学校設置条例の一部を改正する条例制定についてなど、市長から提案された27案件を審議し、すべて可決・諮問のとおり決定しました。

主な条例は、甲府市市立学校設置条例の一部を改正する条例制定についてで、リニア中央新幹線の整備に伴い、中道北小学校を移転するため改正を行うものです。

主な補正予算は、令和2年度甲府市一般会計補正予算(第11号)で、ふるさと甲府応援寄付金の増加に伴う地域振興基金積立金の増額等の補正となっています。

12月定例会の概要

議会日誌

10月7日(水)	甲府商工会議所と新型コロナウイルス感染症	11月30日(月)	12月定例会開会、本会議(提案理由の説明、総務・民生文教委員会付託)、総務・民生文教委員会、
10月8日(木)	対策特別委員会の意見交換会		本会議(総務・民生文教委員長報告、討論、採決)、
10月12日(月)	議会基本条例特別委員会、正副委員長会議		広報委員会
10月15日(木)	会派代表者会議		
10月20日(火)	関東市議会議長会	12月3日(木)	本会議(質疑及び市政一般質問)
10月21日(水)	リニア・公共交通調査研究会、	12月4日(金)	会派代表者会議
	中核市議会議長会	12月7日(月)	議会運営委員会、本会議(質疑及び市政一般質問、
10月22日(木)	議会基本条例特別委員会		提案理由の説明、各常任委員会付託)
10月26日(月)	議会制度調査研究会、民生文教委員会	12月8日(火)	常任委員会(総務・民生文教)
10月27日(火)	まちづくり調査研究会視察、	12月9日(水)	常任委員会(経済建設・環境水道)
	山梨県市議会議長会	12月11日(金)	議会運営委員会、本会議(各常任委員長報告、
11月2日(月)	議会基本条例特別委員会		討論、採決、提案理由の説明、民生文教委員会付
11月5日(木)	全国市議会議長会		託)、民生文教委員会、本会議(民生文教委員長
11月6日(金)	広報委員会、新型コロナウイルス感染症対策		報告、採決、新型コロナウイルス感染症対策特
	特別委員会		別委員長中間報告)、12月定例会閉会、
11月9日(月)	議会基本条例特別委員会		会派代表者会議、広報委員会
11月12日(木)	都道府県庁所在都市議会議長会	12月18日(金)	市民と議会の交流会(市立甲府商業高等学校)
11月13日(金)	会派代表者会議、議会運営委員会	12月21日(月)	市民と議会の交流会(東海大学付属甲府高等学校)
11月16日(月)	議会制度調査研究会視察	12月22日(火)	民生文教委員会
11月18日(水)	議会制度調査研究会	12月23日(水)	議会基本条例特別委員会
11月19日(木)	議会基本条例特別委員会	12月24日(木)	総務委員会
11月20日(金)	総務委員会、議会運営委員会	12月25日(金)	経済建設委員会行政視察
11月25日(水)	議会運営委員会、会派代表者会議、	令和3年	
	議会基本条例特別委員会	1月6日(水)	広報委員会



無料アプリ「マチイロ」を利用して、スマートフォンなどで、いつでも甲府市議会だよりが読みいただけます。

※通信料は利用者負担となります。
※表示される広告の内容については、一切責任を負いません。

3月定例会の予定

月	火	水	木	金	土	日
2/22	23	24	25	26 本会議(開会)	27	28
3/1 休会	2 休会	3	4	5	6	7
8 常任委員会	9	10 休会	11 本会議	12 予算特別委員会	13	14
15	16	17 予算特別委員会	18	19	20	21
22 休会	23 本会議(閉会)	24	25	26	27	28

本会議の内、開会日及び市政一般質問を行う3日間はNNS(10ch)やインターネットによる中継のほか、本庁舎南側にある大型ビジョンでも放映します。

政友クラブ
代表質問（分割）

池谷 陸雄

市長の政治姿勢について

質問 Q このコロナ禍を踏まえ、市長2期目の後半を迎える令和3年度の市政運営と、その予算編成について見解を伺います。

答弁 A 令和3年度の市政運営は、「こうふ未来創り重点戦略プロジェクトNEXT」に掲げた施策等を更に推進・充実させ、地域やコミュニティ等において互いにつながり支え合う中で、一人ひとりが生活の豊かさを実感できる地域社会の実現に努めてまいります。予算編成にあたっては、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により市税収入の大幅な減収が見込まれるものの、市税等の減収を補填するあらゆる制度を活用し財源確保に努めるとともに、各事業の優先度を見極めたスクラップ・アンド・ビルドの徹底を指示したところであり、市民サービスの低下を招くことのないよう、これまで以上に行政改革に取り組み、効率化に行なってまいります。

こうふ開府500年記念事業の効果と信玄公生誕500年の取組について

質問 Q これまでのこうふ開府500年記念事業による効果と、本市として信玄公生誕500年をどのように展開していくのか伺います。

答弁 A こうふ開府500年記念事業を通じ、甲府ラーニング・スピーチ等を未来へ残すべきレガシー事業としたことは大きな成果であるとともに、観光客増加等による消費額が93億円もの波及効果をもたらすなど、経済面においても非常に効果があつたものと考えています。

信玄公生誕500年については、山梨県主体のイベントに先立ち、信玄公や武田家にまつわる常設企画展など、機運の醸成を図っているところであり、信玄公生誕の日である11月3日を大切な記念日と捉え、賑わいと魅力の創出等につながる事業を着実に実施してまいります。

その他の質問事項

・リニア駅から富士山までのアクセス方法について 他

創政こうふ
代表質問（一括）

清水 仁

市長の政治姿勢について

質問 Q 樋口市政2期目の後半にあたり、「こうふ未来創り重点戦略プロジェクトNEXT」の今後の推進について見解を伺います。

答弁 A 市長就任2期目の負託をいただいた以降は、笑顔あふれるまちに元気をプラスし、甲府の明るい未来を切り開いていく各種施策に取り組んでおり、コロナ禍を市民の皆様と一丸となって乗り越えるために「新しい生活様式」の定着を図ることはもとより、中長期的な事業推進を視野に入れる中で、「こうふ未来創り重点戦略プロジェクトNEXT」の各種施策をより一層充実させ、新たな施策展開にも意を注いでまいります。

今後、市民の皆様方の声を市政推進の大切な原動力とし、「子ども」から「女性」「シニア」の全ての人たちが健康で活躍できるような生きがいと絆を大切にしながら元氣いっぱい「故郷こうふ」創りに邁進してまいります。

都市計画道路整備事業の進捗状況と展望について

質問 Q 都市計画道路整備事業5路線7工区の進捗状況と、「甲府市立地適正化計画」と連携した道路整備について見解を伺います。

答弁 A 本市では、都市計画整備市街地と各地を結ぶ放射・環状の都市活動軸となる幹線道路を主体に整備してまいりました。

今年度は城東三丁目敷島線の一部、来年度は住吉四丁目善光寺線、高畑町昇仙峡線の一部の事業認可を取得する予定であり、特に池田通りは、歩道幅員が極めて狭く、安全性の確保が課題であるため先行することとしました。

今後は、甲府市立地適正化計画に基づき、医療・福祉・子育て機能等の都市機能や生活利便機能を地区拠点等に集約し、公共交通ネットワークでつなぐことで、その周辺に居住を誘導し、生活サービスの利便性向上を目指します。



その他の質問事項

・国土強靱化地域計画の策定について 他

質問席にアクリル板を設置したため、マスクの着用は任意としました。



公明党
代表質問（分割）
長沢 達也

「おくやみコーナー」の新設について

質問Q 本市の窓口において「おくやみコーナー」を設置すること、ご家族が亡くなられた際の各種手続きを一元化し、ご遺族の負担を軽減していくべきと考えますが、見解を伺います。

回答A 現在本市は、死亡に関する各種手続きについて案内をするパンフレット等を関係者、またはご遺族にお渡ししています。が、「おくやみコーナー」は、それを更に発展させ、市民に寄り添い、市民の視点に立った窓口であると認識しています。

このことから、「おくやみコーナー」の設置にあたっては、死亡に関する手続きのフロー等を確認し、具体的なサービス設計を行う必要があることや、幅広い制度・手続きへの知見を持つ職員の確保・育成も必要であることなどの課題もあるため、今後、調査・研究を行ってまいります。

発達障がい児の早期発見・早期支援について

質問Q 発達障がい児の早期発見・早期支援に対する、現状と今後の取組について伺います。

回答A マイ保健師等により、健康診査での子どもの行動観察や保護者への寄り添った相談支援を行うとともに、公立保育所では、保育士が発達特性などの共通の視点を持つことで早期の気づきにつながるよう努めています。こうした中、発達に不安のある方については、専門職との連携により、「すこやか相談」等を通じた適切な支援を行うとともに、発達障がいが認められるお子様に対しては、適切に医療や障害福祉サービス等につなげているところです。今後、各ライフステージにおいて的確で切れ目のない継続的な支援を行い、発達障がいのある方やそのご家族等が住み慣れた地域で安心して暮らしていけるよう取り組みを進めます。



その他の質問事項

・日本女性会議2021 in 甲府について 他



こうふ未来
代表質問（分割）
廣瀬 集一

本市の第二期総合戦略及び人口ビジョンの更なる課題について

質問Q 市民の意識を取り入れた総合的なアンケートの実施による見直しと、構造改革特区の活用について見解を伺います。

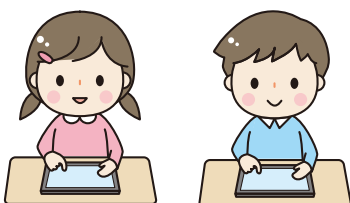
回答A 全国を席巻している新型コロナウイルス感染拡大は、地方移住や2拠点化へと関心がシフトするなど生活様式や経済活動に変化をもたらし、人口減少対策にも影響を及ぼす要因となることから、総合戦略の推進においては、市民実感度調査や「地域創生戦略会議」での意見等を踏まえる中、適時・的確に見直しをすることとしています。

また、構造改革特区については、様々な特区の誕生によってその規制緩和が全国的に広がり法の再整備もされていることから、本市まちづくりへの影響や有効性などを総合的に勘案する中で、引き続き注視してまいります。

教育のICT化、GIGAスクール構想の推進について

質問Q 教育のICT化の推進について、また、GIGAスクール構想や「未来の教室」実証プロジェクトの推進によるEdTechを活用した学習の継続や学習スタイルの転換等の先進的な取組に対する見解を伺います。

回答A 「一人一台端末」時代の子どもの力を最大限に引き出し、「多様な子どもたちを誰一人取り残すことのない、公正で個別最適化された学び」を実現するため、学校ICTの効果的な活用に向けた・組織的取り組みをします。今後、ICT活用による学校教育の変化への対応に努める中で、文部科学省のGIGAスクール構想はもとより、総務省のローカル5G事業や経済産業省のEdTech導入支援に係る諸事業など関係省庁の動向を注視しながら、教育の情報化に取り組み、更なる教育の質の向上を図ってまいります。



質問席にアクリル板を設置したため、マスクの着用は任意としました。



日本共産党
代表質問（分割）

清水 英知

高齢者福祉施策について

質問Q 本市の調査に対し、高齢者の3割が「暮らしが苦しい」と答えた結果をどのように受け止め、次期甲府市高齢者支援計画や施策に生かしていくのか伺います。

并A ニーズ調査において、前回と同程度の約3割の方が「暮らしが苦しい」と感じているとの回答結果については、ひとり暮らし高齢者や高齢者のみの世帯が増加する中、健康・医療・介護などへの将来的な不安感等も一つの要因となっているものと考えています。

このことから、次期甲府市高齢者支援計画については、高齢者の将来への様々な不安感を取り除けるよう介護予防や健康づくりによる高齢者の健康寿命の延伸や、地域における支え合いの取組を推し進め、自分らしく安心して暮らし続けられるまちの実現を目指した計画として策定してまいりたいと考えています。

新型コロナウイルス感染拡大の抑止について

質問Q 医療機関、介護・福祉施設、保育園・幼稚園、学校、放課後児童クラブなど、クラスターが発生すれば多大な影響が出る施設等に、定期的な「社会的検査」を行うことを求めますが、見解を伺います。

并A 本市では、医療機関や高齢者施設等において、発熱等症状のある方は速やかに検査につなげるとともに、陽性者や濃厚接触者が確認され感染拡大やクラスター発生が懸念される場合には、柔軟に検査対象者の範囲を拡大して検査を行っています。

なお、高齢者施設等に新たに入所される方を対象とした検査費用の助成事業について、今定例会に提案させていただいたところです。今後、国・県や医療機関等とも緊密な連携を図りながら、感染予防と感染拡大防止に万全を期してまいります。

その他の質問事項

・中小企業等に対する支援について 他



こうふクラブ
代表質問（分割）

山田 弘之

医療スタッフの感染防止対策及び感染時の対応等について

質問Q 市立甲府病院の医療スタッフの感染予防・防止対策と感染確認後の対応はどのように考えているのか伺います。

并A 病院職員については、検温や手指消毒はもとより、感染流行地域への移動の自粛要請や防護具等を着用した診療など、感染予防・防止を徹底しています。

また、倦怠感等がある職員は、必要と判断された場合、速やかにPCR検査等を実施するとともに、就業の制限を行い、感染確認後は14日間の就業制限と健康観察に加え、偏見等がないよう職場内での徹底や感染した職員に対する心のケア等にも努めてまいります。併せて、保健所と連携し感染経路の解明や濃厚接触者のPCR検査等を早急に行うとともに消毒を行うなど、院内感染の拡大防止に全力で取り組んでまいります。

スクールソーシャルワーカーの増員及びあすなろ学級の増設について

質問Q 市内の小中学校36校を1人で担当しているスクールソーシャルワーカーの増員と、あすなろ学級の西部地域への設置を求めますが、見解を伺います。

并A 児童・生徒及び家庭への支援については、事例に応じてスクールソーシャルワーカーをはじめ、他の専門スタッフや教職員、あすなろ学級、家庭相談員等と連携して対応しており、今後も、現行の多職種連携型の相談・支援を継続していきたいと考えています。

あすなろ学級の増設については、実態に基づいた総合的な不登校対策を講じる中、不登校児童・生徒の推移を見ながら、利用希望者が増えるようであれば、地域的な利便性も考え、西部地域への設置について検討してまいりたいと考えています。

その他の質問事項

・公共性の高い市道の街路灯及び甲府城周辺の街路灯について 他



質問席にアクリル板を設置したため、マスクの着用は任意としました。



政友クラブ
一般質問（分割）

鈴木 篤

避難所へのテレビの設置について

質問 避難所内にテレビを設置し、災害情報が視聴できる環境を整えることが避難所の運営に欠かせない条件だと考えますが、見解を伺います。

回答 本市では、被災時に臨時回線を引き避難所でテレビを視聴できることとしていましたが、令和元年東日本台風では、災害が発生していない時点でも災害情報等を取得するため、テレビ等の設置を求めるご意見をいただいたことから、テレビの視聴が可能な施設については、視聴場所を定め開放するところとします。

また、現在、本市教育委員会において高速大容量の校内通信ネットワーク整備を行っていることから、避難所として体育館を利用する際に災害情報等が得られるよう、避難所における情報収集手段の確保に関する具体的な運用方法について協議を進めてまいります。

水資源に関する教育と啓発活動の推進について

質問 甲府市民が誇りとする良質な水を守る取組を推進するため、水資源への理解と水の大切さを教える教育に関する環境副読本を作成し学校等に配布すべきと考えますが、見解を伺います。

回答 本市では、水源林植樹の全活動に努めるとともに、水資源に関する小冊子として「水滴くんと雫ちゃんの水の旅」等を作成し啓発してまいりました。

更なる水資源への学習と理解を深めていただくため、内容をより充実させた教育小冊子の作成と配布方法等について検討を始めており、市内の小学校のほとんどが平瀬浄水場へ校外学習に来ることから、その学習の際などに活用できるよう、令和3年度からの配布に向け、準備を進めてまいります。



その他の質問事項

・重度心身障がい者タクシー利用料助成制度について 他



政友クラブ
一般質問（分割）

鮫田 光一

中道北小学校の建設について

質問 新学校施設の特徴と、道路整備の安全対策について伺います。

回答 リニア中央新幹線建設に伴う学校施設の整備については、令和3年3月に工事が完了し、翌4月から開校する予定です。施設の主な特徴は、校舎と中庭の一体的な利用を可能とすること

で、合唱や児童会行事などを想定した学年の垣根を超えた交流の場を創出するとともに、児童が本を身近に感じ、意欲的に学ぶことができるよう校舎の中心に図書室を配置しています。更に、廊下や階段の幅を広く設け、開放的な雰囲気のもと、読書をはじめ多目的に活用できるスペースを確保するとともに、防音対策として二重サッシ等を用いるなど、より良好な教育環境の提供に努めています。

また、隣接道路の整備は、令和4年度までの間、中央自動車道の側道から現在の小学校入口交差点まで

の500メートルの区間に歩道を整備してまいります。工事の安全対策は、作業エリアと歩行者用通路をバリケードで分離し、児童の登下校や児童館へ移動する際に回りを通行することなく歩行者が安全に通行できる環境を確保するとともに、朝の工事は登校確認後に開始することとしています。



空き家対策について

質問 民間と連携した空き家対策の推進について伺います。

回答 本年9月には、自治体及る山梨県空き家等対策市町村連絡調整会議において「やまなし空き家相談手帳」を作成しました。

今後は、この相談手帳をもとに、本市の各種助成制度も併せて紹介する中で、空き家の活用を考えるきっかけとなるような本市独自の啓発冊子を作成し、空き家情報提供制度において判明した所有者等に対し、空き家の利活用に向けた周知を図ってまいります。

その他の質問事項

・新型コロナウイルス感染症緊急対応策について

質問席にアクリル板を設置したため、マスクの着用は任意としました。



創政こうふ
一般質問（分割）

天野 一

市道国玉通り線について

質問Q 国玉通り線の整備における、これまでの対応状況と今後の予定について、また、全線開通することによってどのような効果が期待できるか、見解を伺います。

答弁A 平成4年度に地元自治会連合会より道路建設の要望を受け、平成5年度から事業に着手し、平成16年度には一部区間の供用を開始しましたが、地価の下落などの影響により事業が長期化していました。

今般、地権者の皆様のご理解・ご協力と地元の皆様のご尽力をいただき、本年10月に全ての用地・補償契約が完了したところです。国玉通り線の開通は、渋滞緩和や本市の経済活動等に貢献できるものと考えており、また、安全・安心な地域づくりや、賑わいと活力の創出など、多くの効果が期待される道路であることから、令和4年度内の早期供用開始を目指してまいります。

学校教育の充実と教員の負担軽減について

質問Q 給食費徴収は、学校や教職員にかなりの負担がかかり、子どもたちと向き合う時間を確保するには、公会計への移行や専門的な徴収員の雇用などが必要と思われませんが、見解を伺います。

答弁A 学校現場からの様々な声も聞く中で状況把握に努めるとともに、他都市の状況や先進都市の導入事例等を調査し、公会計に移行した場合の経費や人員配置等の研究を行ってまいりました。こうした研究結果から、学校給食費の公会計化は、授業改善の時間や子どもたちと向き合う時間の確保にもつながり、教員の負担軽減に資する有効な手段であると認識したところです。

今後は、公会計化にあたって債権管理など解決しなければならぬ様々な課題も明らかに became になったことから、それらの整理について更に検討を行ってまいります。



その他の質問事項

・午前5時間授業について 他



創政こうふ
一般質問（分割）

寺田 義彦

甲府駅前及び中心街の活性化について

質問Q 甲府駅前のヨドバシカメラ出店に連携・連動した本市の活性化策について、また、これを契機とした甲府駅周辺及び中心街における民間活力を活かしたエリアマネジメントの今後の展開について見解を伺います。

答弁A ヨドバシカメラの出店の効果を点で終わらせることなく、中心市街地全体のエリア価値の向上につなげることが重要であることから、ヨドバシカメラ側との情報交換や、周辺商店街からの要望を伺いする中で、甲府駅を中心に、周辺商業エリアの賑わいの創出や回遊性の向上を図ってまいりたいと考えています。

また、民間との連携を図る中で今後は、官民の様々な人材が集積するプラットフォームの構築や共有ビジョンの策定など、官民が連携したまちづくりを推進していきたいと考えています。

動物愛護について

質問Q 地域猫活動推進のため、どのように地域や団体と連携・連動していくか、また、現在進められている市立動物園の再整備計画を契機とした連携・連動について見解を伺います。

答弁A 地域猫活動の内容を周知地域において動物愛護推進員が猫の習性や特性を分かりやすく解説するなどの説明会を開催するとともに、活発に活動する地域を支援するため、保護器の貸出しや不妊去勢手術費用に係る更なる負担の軽減を検討してまいります。

また、市立動物園と獣医師相互の連携・交流のもと、将来的には園のイベントと同時に保護した犬猫の譲渡会を開催するなど、動物愛護の推進が更に深まる取組を検討し、人と動物が共生できる社会づくりの更なる推進に努めます。



その他の質問事項

・コロナ禍における財源確保と、民間との連携による公共施設等のマネジメントについて 他

質問席にアクリル板を設置したため、マスクの着用は任意としました。



公明党
一般質問（分割）

中村 明彦

PCR検査にいたる相談・検査体制の変更への対応について

質問 Q 相談・検査体制のスキーム変更により、スムーズなPCR検査までの流れができていくのか、また、これに伴うPCR検査数と、本市保健所の負担軽減につながったのか伺います。

回答 A PCR検査については、帰国者・接触者相談センターに相談した上で帰国者・接触者外来において検査を受けていただいていたが、現在は、日頃から受診している医療機関へ電話で相談し検査を受けられる体制となっており、安心して受診していただけていると考えています。

また、甲府市医師会等のご協力をいただく中、市内の診療・検査医療機関等において、1日80件以上の検査が順調に実施されていることから、甲府市受診・相談センターにおけるPCR検査の実施に係る業務が減少し、保健所の負担

軽減が図られるとともに、混乱なく新たな相談・受診・検査体制に移行できていると考えています。

自転車の安全・安心な利用と自転車保険加入の促進を求める取組について

質問 Q 令和2年10月1日より自転車保険の加入を義務化する山梨県条例を踏まえ、本市では自転車の安全・安心な利用と自転車保険の加入促進等へどのように取り組んでいくのか伺います。

回答 A 山梨県の条例制定に併せ、児童・生徒、保護者へ自転車保険等に関する情報提供を行ったほか、様々な媒体を活用した情報発信や啓発ポスターの掲示など、広く市民への周知に努めています。

また、交通安全教室を実施する中、自転車の交通ルールとマナーの遵守に加え、自転車保険等への加入についても指導しており、今後もし山梨県等と連携し様々な機会を通じて加入促進を図ってまいります。

その他の質問事項

・行政手続き等の押印廃止について 他



こうふ未来
一般質問（一括）

神山 玄太

感染拡大の抑制に向けた市民意識の啓発について

質問 Q 市民に感染拡大防止策を伝え続けることが重要だと考えますが、見解を伺います。

回答 A 本市独自の注意喚起策として「加湿と換気」、「気分転換と気配り」、「グリーン・ゾーン認証施設」、「検温、検針、健康管理」、「小（こ）人数で短時間、個別料理」の5つの視点を「か・き・く・け・こ」を頭文字にした「冬の新型コロナウイルス対策」として情報発信に努めています。

自治体版デジタルトランスフォーメーション（DX）について

質問 Q 国がスピードを上げてデジタル化を推進することが明らかになりましたが、本市におけるDX推進に向けた人材確保と横断的な組織づくりについての考えを伺います。

回答 A 国は人口減少やコロナ禍の到来で行政におけるDX推進を重要視し、地方自治体においては社会課題に対応した新しい行政の仕組みづくりを進めていくことが求められています。

DX推進には全庁的な取組が必要であることから、組織横断体制の構築や適切なデジタル技術活用を提案できる人材育成に取り組んでまいります。

電子申請サービスの拡大について

質問 Q 積極的に電子申請を拡大するにあたり、どの業務が電子申請できるか全庁的に調査し、担当課から提案を受けるべきだと考えますが、見解を伺います。

回答 A 電子申請で事務作業が軽減され、捻出した時間・人材・財源を住民に寄り添う良質なサービスの提供に充てることが可能であると考えています。電子申請を拡大し、市民サービスの利便性向上に努めるため、全庁的な調査及び改善提案については、申請を電子化するために必要な押印の見直しとともに進めてまいります。



質問席にアクリル板を設置したため、マスクの着用は任意としました。

常任委員会審査の概要

予算や条例など付託案件を
審査した経過等の概要です。

常任委員長
報告要旨

総務 委員会

委員長：輿石 修 副委員長：鮫田光一
委員：小澤 浩 末木咲子 清水 仁
長沢達也 廣瀬集一 山田 厚

(11月30日審査)

◆議案第138号 甲府市職員給与条例等の一部を改正する条例制定について

中核市としての業務や新型コロナウイルス感染症への対応等により多忙となっている中、期末手当の支給割合を引き下げること、本市職員の士気に影響を与えることから反対であるとの意見がありましたが、採決の結果、多数をもって当局原案のとおり可決するものと決しました。

◆議案第139号 特別職の職員で常勤のものの期末手当に関する条例の一部を改正する条例制定について

全員異議なく当局原案のとおり可決するものと決しました。

(12月8日審査)

◆議案第145号 令和2年度甲府市一般会計補正予算(第12号)

一般職員の期末手当支給割合の引下げを含む予算であることから反対であるとの意見がありましたが、採決の結果、多数をもって当局原案のとおり可決するものと決しました。

◆議案第137号 甲府市事務分掌条例の一部を改正する条例制定について

全員異議なく当局原案のとおり可決するものと決しましたが、組織整備にあたっては、職員に過度な負担とならないよう進めるとともに、市民周知に努めるよう求める意見がありました。

◆議案第132号 財産の取得について 他2案

3案については、いずれも全員異議なく当局原案のとおり可決するものと決しました。

◆諮問第5号 人権擁護委員候補者の推薦について 他1案

2案については、いずれも全員異議なく当局諮問のとおり決定するものと決しました。

民生文教 委員会

委員長：神山玄太 副委員長：寺田義彦
委員：池谷陸雄 原田洋二 長沼達彦
山中和男 植田年美 木内直子

(11月30日審査)

◆議案第140号 甲府市学校職員給与条例の一部を改正する条例制定について

コロナ禍であるからこそ、懸命に教育に携わっている学校職員の期末手当の支給割合を引き下げるべきではないことから反対であるとの意見がありましたが、採決の結果、多数をもって当局原案のとおり可決するものと決しました。

(12月8日審査)

◆議案第126号 令和2年度甲府市病院事業会計補正予算(第5号)

マイナンバーカードを活用した健康保険証の資格確認は個人情報漏えいの懸念があることから反対であるとの意見と、患者の利便性の向上や病院職員の事務負担軽減につながることから賛成であるとの意見があり、採決の結果、多数をもって当局原案のとおり可決するものと決しました。

◆議案第146号 令和2年度甲府市介護保険事業特別会計補正予算(第3号)

一般職員の期末手当支給割合の引下げを含む予算であることから反対であるとの意見がありましたが、採決の結果、多数をもって当局原案のとおり可決するものと決しました。

◆議案第128号 甲府市光風寮条例を廃止する条例制定について

全員異議なく当局原案のとおり可決するものと決しましたが、移管によるメリットを生かし、中長期的な視点での支援に努めるよう求める意見がありました。

◆議案第141号 財産の取得について

全員異議なく当局原案のとおり可決するものと決しましたが、小中学校等への一人一台端末の導入にあたっては、教職員への研修や通信ネットワークの検証等、万全な体制で進められるよう求める意見や、保守経費の増大に留意していくよう求める意見がありました。

◆議案第124号 令和2年度甲府市国民健康保険事業特別会計補正予算(第2号) 他4案

5案については、いずれも全員異議なく当局原案のとおり可決するものと決しました。

(12月11日審査)

◆議案第147号 令和2年度甲府市一般会計補正予算(第13号)

全員異議なく当局原案のとおり可決するものと決しましたが、本事業の通知発送時には、併せて他の支援制度についても周知に努めるよう求める意見がありました。

経済建設 委員会

委員長：天野 一 副委員長：中村明彦
委員：荻原隆宏 岡 政吉 坂本信康
望月大輔 川崎 靖 清水英知

(12月9日審査)

◆議案第135号 指定管理者の指定について(甲府市勤労者福祉センター)

全員異議なく当局原案のとおり可決するものと決しましたが、安定的な運営のためにも会員の増加に向けた支援を求める意見がありました。

◆議案第123号 令和2年度甲府市一般会計補正予算(第11号)中経済建設委員会所管分

全員異議なく当局原案のとおり可決するものと決しましたが、ブドウ晩腐病の被害を受けた農家に対しては、山梨県やJA山梨みらい等と連携し包括的な支援体制を構築する中で、恒久的な支援に努めるよう求める意見がありました。

◆議案第136号 市道路線の廃止について 他3案

4案については、いずれも全員異議なく当局原案のとおり可決するものと決しました。

環境水道 委員会

委員長：小沢宏至 副委員長：深沢健吾
委員：鈴木 篤 金丸三郎 兵道顕司
堀とめほ 藤原伸一郎 山田弘之

(12月9日審査)

◆議案第131号 甲府市水道事業給水条例の一部を改正する条例制定について

全員異議なく当局原案のとおり可決するものと決しましたが、利用者の利便性や収納率の向上に寄与するための方策について検討していくよう求める意見がありました。

◆議案第123号 令和2年度甲府市一般会計補正予算(第11号)中環境水道委員会所管分

全員異議なく当局原案のとおり可決するものと決しましたが、指定ごみ袋については、新たなデザインによりごみの分別に対する意識啓発を図るよう求める意見がありました。

◆議案第125号 令和2年度甲府市浄化槽事業特別会計補正予算(第1号) 他1案

2案については、いずれも全員異議なく当局原案のとおり可決するものと決しました。

令和2年12月定例会 審議結果

	議案番号	件名等	議決月日	結 果	政 友 ク ラ ブ	創 政 こ う ふ	公明党	こ う ふ 未 来	日 本 共 産 党	こ う ふ ク ラ ブ
補正予算	議案第123号	令和2年度甲府市一般会計補正予算(第11号)	12月11日	可決	○	○	○	○	○	○
	議案第124号	令和2年度甲府市国民健康保険事業特別会計補正予算(第2号)	//	//	○	○	○	○	○	○
	議案第125号	令和2年度甲府市浄化槽事業特別会計補正予算(第1号)	//	//	○	○	○	○	○	○
	議案第126号	令和2年度甲府市病院事業会計補正予算(第5号)	//	//	○	○	○	○	×	×
	議案第127号	令和2年度甲府市簡易水道等事業会計補正予算(第1号)	//	//	○	○	○	○	○	○
	議案第145号	令和2年度甲府市一般会計補正予算(第12号)	//	//	○	○	○	○	×	×
	議案第146号	令和2年度甲府市介護保険事業特別会計補正予算(第3号)	//	//	○	○	○	○	×	×
	議案第147号	令和2年度甲府市一般会計補正予算(第13号)	//	//	○	○	○	○	○	○
条例の制定・一部改正	議案第128号	甲府市光風寮条例を廃止する条例制定について	//	//	○	○	○	○	○	○
	議案第129号	甲府市国民健康保険条例の一部を改正する条例制定について	//	//	○	○	○	○	○	○
	議案第130号	甲府市市立学校設置条例の一部を改正する条例制定について	//	//	○	○	○	○	○	○
	議案第131号	甲府市水道事業給水条例の一部を改正する条例制定について	//	//	○	○	○	○	×	○
	議案第137号	甲府市事務分掌条例の一部を改正する条例制定について	//	//	○	○	○	○	○	○
	議案第138号	甲府市職員給与条例等の一部を改正する条例制定について	11月30日	//	○	○	○	○	×	×
	議案第139号	特別職の職員で常勤のものの期末手当に関する条例の一部を改正する条例制定について	//	//	○	○	○	○	○	○
	議案第140号	甲府市学校職員給与条例の一部を改正する条例制定について	//	//	○	○	○	○	×	×
その他	議案第132号	財産の取得について	12月11日	//	○	○	○	○	○	○
	議案第133号	財産の無償譲渡について	//	//	○	○	○	○	○	○
	議案第134号	指定管理者の指定について(甲府市甲府駅南口第1自転車駐車場外1施設)	//	//	○	○	○	○	○	○
	議案第135号	指定管理者の指定について(甲府市勤労者福祉センター)	//	//	○	○	○	○	○	○
	議案第136号	市道路線の廃止について	//	//	○	○	○	○	○	○
	議案第141号	財産の取得について	//	//	○	○	○	○	○	○
	議案第142号	工事請負契約の変更契約の締結について	//	//	○	○	○	○	○	○
	議案第143号	工事請負契約の変更契約の締結について	//	//	○	○	○	○	○	○
	議案第144号	訴えの提起について	//	//	○	○	○	○	○	○
	諮問第5号	人権擁護委員候補者の推薦について	//	諮問のとおり決定	○	○	○	○	○	○
議員提出	甲議第18号	議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例制定について	//	可決	○	○	○	○	○	○
	甲議第19号	不妊治療への保険適用の拡大を求める意見書提出について	//	//	○	○	○	○	○	○

○賛成 ×反対

《甲府市議会会派》

政友クラブ ◎池谷陸雄 荻原隆宏 原田洋二 鈴木 篤 公 明 党 ◎中村明彦 兵道顕司 植田年美 長沢達也
 岡 政吉 坂本信康 長沼達彦 小澤 浩 堀とめほ
 末木咲子 深沢健吾 鮫田光一 こうふ未来 ◎廣瀬集一 神山玄太 藤原伸一郎 川崎 靖
 創政こうふ ◎清水 仁 金丸三郎 輿石 修 山中和男 日本共産党 ◎清水英知 木内直子
 天野 一 小沢宏至 望月大輔 寺田義彦 こうふクラブ ◎山田 厚 山田弘之 ◎は会派代表者

◎人事案件については、諮問のとおり決定されました。

◆人権擁護委員候補者の推薦について

雨宮年江 玄間智恵美 (敬称略)

市民の声を反映して

請願または議員自らの提案に基づき、議会の意思を決定し提出します。

不妊治療への保険適用の拡大を求める意見書

日本産科婦人科学会のまとめによると、2018年に不妊治療の一つである体外受精で生まれた子どもは5万6,979人となり、前年に続いて過去最高を更新したことが分かった。これは実に16人に1人が体外受精で生まれたことになる。また、晩婚化などで妊娠を考える年齢が上がり、不妊に悩む人々が増えていくことから、治療件数も45万4,893件と過去最高となった。

国においては2004年度から、年1回10万円を限度に助成を行う「特定不妊治療助成事業」が創設され、その後も助成額や所得制限などを段階的に拡充してきている。また、不妊治療への保険適用もなされてきたが、その範囲は不妊の原因調査など一部に限られている。保険適用外の体外受精や顕微授精は、1回当たり数十万円の費用がかかり何度も繰り返すことが多いため、不妊治療を行う人々にとっては過重な経済負担になっている場合が多い状況にある。

厚生労働省は、不妊治療の実施件数や費用などの実態調査を10月から始めているが、保険適用の拡大及び所得制限の撤廃も含めた助成制度の拡充は、早急に解決しなければならない喫緊の課題である。

そこで、国においては、不妊治療を行う人々が、今後も健康を保持し、安心して治療に取り組むことができるよう、次の事項について早急に取り組むことを強く求める。

- 1 不妊治療は一人ひとりに最適な形で実施することが重要であるため、不妊治療の保険適用の拡大に当たっては、治療を受ける人の選択肢を狭めることがないように十分配慮すること。具体的には、現在、助成対象となっていない「人工授精」をはじめ、特定不妊治療である「体外受精」や「顕微授精」更には「男性に対する治療」についてもその対象として検討すること。
- 2 不妊治療の保険適用の拡大が実施されるまでの間については、その整合性も考慮しながら、所得制限の撤廃や回数制限の緩和など既存の助成制度の拡充を行うことにより、幅広い世帯を対象とした経済的負担の軽減を図ること。
- 3 不妊治療と仕事の両立できる環境を更に整備するとともに、相談やカウンセリングなど不妊治療に関する相談体制の拡充を図ること。
- 4 不育症への保険適用や、事実婚への不妊治療の保険適用、助成についても検討すること。

提出先 内閣総理大臣 厚生労働大臣

令和2年12月定例会 請願審査結果

	番 号	件 名	付託委員会	結 果
請 願	第1－3号	安全・安心の医療・介護の実現と夜勤交替制労働の改善を求める請願	民生文教	継続審査
	第1－4号	介護従事者の全国を適用地域とした特定最低賃金の新設を求める請願	//	//
	第1－5号	看護師の全国を適用地域とした特定最低賃金の新設を求める請願	//	//
	第1－6号	「最低賃金の改善と中小企業支援の拡充を求める意見書」の採択を求める請願	経済建設	//
	第2－2号	治安維持法犠牲者国家賠償法(仮称)の制定等を国に求める請願	総 務	//
	第2－11号	「加齢性難聴者の補聴器購入に対する公的補助制度創設を求める意見書」提出の請願	民生文教	//

各調査研究会 活動報告

甲府市議会では、市議会の活性化を図り、議員の資質向上に資するため、正副議長を除く議員30名がテーマごとに分かれ、調査・研究活動をしています。

議会制度調査研究会

具体的な調査・研究のテーマを、「タブレット端末等のICTを活用したペーパーレス化について」とし、11月16日には、県内で初めてタブレット端末を導入した富士川町議会を視察しました。今後は、タブレット端末導入に向けて効果や予算面などの調査・研究を行ってまいります。



リニア・公共交通調査研究会

8月17日に、元山梨県参与の堀内昭司氏から「リニア中央新幹線／山梨への起爆点」についてご講演をいただき、9月10日には、「中央リニア新幹線建設促進山梨県議会議員連盟研究委員会」との意見交換会を、更に10月21日には、山梨交通株式会社の雨宮正英社長から「甲府市の公共交通の現状と課題」についてご講演をいただきました。



まちづくり調査研究会

「理想とする甲府」について、委員が様々な情報を持ちより意見交換を行いながら調査・研究を進めるとともに、10月27日には、甲府の魅力を再発見し、今後のまちづくりに生かしていくため、昇仙峡やマウントピア黒平、愛宕山などの市内現地視察を行いました。



編集後記

今回、市議会だよりの企画ページの編集にあたり、コロナ禍における各現場の「生の声」を聴く機会や、高校生との意見交流会における高校生から見た「ふるさと甲府への熱い思い」に触れ、改めて市民のみなさまとのつながりの大切さを実感することができました。

これからも、市議会の活動報告とともに、市民のみなさまとのつながりのツールとなり得るような、親しみやすい市議会だよりを目指していきます。

広報委員 深沢健吾

甲府市議会広報委員会

委員長：兵道顕司 副委員長：山中和男 委員：深沢健吾 寺田義彦 堀とめほ 神山玄太 木内直子 山田弘之

甲府市議会ホームページ・Eメール

URL <http://www.city.kofu.yamanashi.jp/shise/gikai/index.html>

Email gikai@city.kofu.yamanashi.jp



〈モバイル〉



〈フェイスブック〉